

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野産ホップ生産と麦芽栽培による遊休荒廃農地活用事業
事業主体 (連絡先)	安曇野産ホップを生産する会 安曇野市堀金烏川5699-1
事業区分	(6) 産業振興及び雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,061,929円 (うち支援金: 797,000円)

事業内容

遊休荒廃農地解消策と生産会員増加を目指し、本年度はホップの生産向上を目指すため圃場の追加基盤整備を進め、並行し二条大麦の麦芽加工も行い、昨年行った地ビール祭りのほか、ホップ収穫祭も初めて試みた。

- ・収穫作業視察 (8月下旬: 岩手県遠野市)
- ・ホップ棚追加補強工事 (12月下旬~H31年1月)
- ・募集による収穫体験会の開催 (約10名の参加)
- ・地ビール祭りの開催 (約500名)



【初のホップ収穫体験会の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 本年3年目となるが、ホップ苗も株分けが行えるほど成長し収穫約85kg、うち生約10kgを除き、乾燥約18kgまで増やせた。3年目の目標で乾燥10kgも達成でき、さらなる生産技術の向上と持続的な事業体制や基盤整備を進める。
- ② 二条大麦は、本年度栽培面積を拡大し、約1.5tの収量を上げた。今後は加工精度を向上させ、新たな販路開拓と効率的な加工作業の構築に努める。
- ③ 若い農業者を中心に会員を増やし、今後は企業や地域との連携を深め、賛同いただく取組みを継続する。
- ④ 2度目イベントは昨年より約200名増え、駅からのバス運行も試みた。また参加募集型で収穫体験を始めて試み、15名の募集に対し10名の参加があり、参加者からは圃場場所も含め大変好評であった。

【目標・ねらい】

- ① 栽培、作業効率の向上
- ② 遊休荒廃農地活用面積の増加
- ③ 本会員数の増加
- ④ ホップ知名度の向上

※自己評価【A】

【理由】

- ・二条大麦、ホップの収穫も目標以上の収穫水準に達した。
- ・イベントを通じ、徐々に認知も広げることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後、ホップ生育も順調となったことから作業効率の向上が重要となってくる。また、会員だけでなく、これまで構築できた関係者との連携も強化し、共感する仲間を増やしていきたい。事業者との連携は現在1社のため、地域資源の価値を認識し、新たな事業者とも行えれば、収量増から遊休荒廃農地の利活用も進められ、新たな地域資源の認知を拡大していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
- 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある